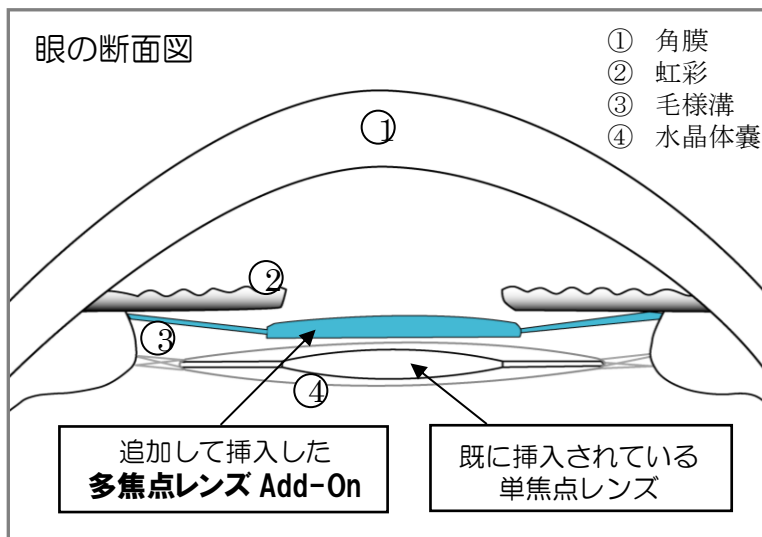




## 老視矯正眼内レンズ

### 追加挿入型 多焦点眼内レンズ Add-On

既に白内障手術が実施され 従来の単焦点眼内レンズが挿入されている眼に、さらにもう1枚の多焦点眼内レンズAdd-Onを挿入し、遠方近方両方に焦点が合うようにできます。



Add-on は Human Optics 社 (ドイツ) で開発された白内障術後患者の視機能を向上するための「二枚重ね挿入専用」の眼内レンズです。

### このような方に適しています

- **すでに“単焦点眼内レンズ”が入っているが、“多焦点眼内レンズ”にしたい。**  
白内障手術を受けて数ヶ月以上経過すると眼内レンズが水晶体囊内で癒着するため、眼内レンズの交換は困難でしたが、Add-on 多焦点眼内レンズにより、その要望を実現します。
- **白内障手術後、裸眼でもっと見えるようにしたい(出来るだけ眼鏡なしで見えるようにしたい)。**  
白内障手術後の近視・遠視・乱視といった屈折異常の矯正に適した手段です。  
「近くをもっと見えるようにしたい」「遠くをもっと見えるようにしたい」  
「乱視を少なくしたい」「左右の度数差をなくしたい」といった”裸眼での見え方”を改善することができます。

Add-On に関わる治療は、術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)がすべて自費診療となります。詳しくは担当医またはスタッフまでご相談ください。

## 【ぶどう膜炎外来】

当院では第 4 水曜日(午後) 東京医科歯科大学眼科 望月 學 教授による [ぶどう膜炎外来] 診療を行っております。

ぶどう膜炎とは眼内における炎症性疾患すべてのことを「ぶどう膜炎=(最近では)内眼炎」と呼びます。最もよく現れる症状は霧視(かすみがかかったように見える)と羞明感(まぶしく感じる)です。その他に視力低下、眼痛、充血、飛蚊症(虫が飛んでいるように見える)などの症状もみられます。

PCR による遺伝子レベルの原因検査も迅速にできるようになりました。原因に応じた、より適確な治療が可能です。原因不明な再燃を繰り返す[ぶどう膜炎]の患者さんが居られましたら、御遠慮なく御紹介ください。

## 【屈折矯正手術 (レーシック LASIK)】

レーシックとはエキシマレーザーという特殊なレーザーによって、角膜の表面組織(角膜実質層)を削り、角膜の屈折力を変え、「近視」「遠視」「乱視」を治す眼科的矯正手術のことです。

### 《無料説明会》のお知らせ

【メガネやコンタクトレンズいらずの生活を送りたい！】  
ご興味のある方は、ご家族・ご友人をお誘いの上、ご参加ください。  
下記日程にて開催しております。

2月4日(土)・3月3日(土)・4月7日(土)  
【午前 11:00～(1 時間程) 西眼科病院 1Fドリンクコーナーにて】

- 網膜硝子体手術器械：コンステレーション 2 台を導入しました。従来のカッターは 2500 回転でしたが、5000 回転で硝子体を切除します。より安全により早く硝子体手術が可能となった世界最新の器械です。
- 白内障超音波乳化吸引器械：ホワイトスター シグネチャーを 3 台導入しています。最新器械・最新技術の導入で最高水準の治療を患者さんに提供して参ります。